

この度は、私たち森づくり支援グループの地域支援活動に対して、北海道工業大学同窓会様から活動助成を頂きまして、誠に有難うございます。

私たちは、支笏湖周辺台風災害復興の森づくり実行委員会が主催する、植樹イベントに平成18年9月に参加し750本の苗木を植えました。そして本年(平成19年)10月13日に「森の育て親」として苗木の成長具合や周りに生い茂った雑草を取り除き、成長を促進させる下刈り作業の支援をしてきました。

現地に到着してすぐに実行委員会事務局の方から、現在育てている木や森の植生についてのお話を聞きました。

事務局の方が、とても親切にかつ嬉しそうに私たち学生へお話をして頂きました。



〔植樹したエリアの植生に関する説明を受けている場面〕

(雑草刈り)

昨年植樹した苗木の生長の妨げにならない様に、皆で力を合わせて750本もの苗木周辺の雑草を刈ってきました。

枯れてしまっていた苗木もあり、度々こうして私たち森の育て親は雑草を刈りにくる必要があると強く感じました。



〔植樹した苗木周辺の下刈り作業の場面〕

(感想)

最後には、事務局の方からの計らいで美味しいきのこ汁を、私たちを含めた参加者全員が頂き、親睦を深めました。

平成16年の台風災害で、破壊されてしまった支笏湖周辺の森を復興するお手伝いのできた事がとても嬉しく、北海道工業大学環境デザイン科の学生としても、大学で学んできた環境保護に関する地域支援活動に実際に関わって、生きた体験と良い勉強になりました。



[当日下刈り作業に参加した方々へ振舞われたきのこ汁配給の場面]